

♪ 2022年度 **poco a poco** ♪

Nr. 5 2022年5月23日(月)

文責:プファイル・辰巳

みんなの笑顔 😊

音楽の授業が制限なくできるようになりました。歌う時はマスクを着用している児童・生徒のみなさんが多いですが、リコーダーや鍵盤ハーモニカるときは、そういうわけにいきません。マスク着用慣れちゃって、マスクを取ることに少々抵抗を感じる人もいますが、マスク無しのみなさんの笑顔を見る機会が増えて、私はとてもうれしいです。笑顔と明るい歌声があふれる音楽室になるといいな、と思っています。



<音楽こぼれ話 追悼

~テレサ・ベルガンサ~ >

スペイン生まれのメゾ・ソプラノ歌手ベルガンサの訃報を耳にしました。

テレサ・ベルガンサは、1933年にスペインのマドリードに生まれました。マドリード音楽院でピアノと声楽を学び、優秀な成績で学業を終えた後、1957年のエクス・アン・プロヴァンス音楽祭にて、モーツァルトの「コン・ファン・トゥッティ」のドラベツァ役で、オペラ界にデビューしました。以来同じくモーツァルトの「フィガロの結婚」のケルビーノ役、ビゼーの「カルメン」の主役などが、次々と当たり役になりました。

スカラ座、ロイヤルオペラ、メトロポリタンオペラなど、欧米各地のオペラ座を席卷し、1964年には、カーネギーホールでスペイン歌曲リサイタルも開催しました。

共演を果たした演奏家も、伝説のソプラノ歌手マリア・カラスの他、指揮者のカラヤ



ン、アバド、メータなどそうそうたる面々の名前が連なります。まさに20世紀最高のメゾ・ソプラノ歌手の一人と呼ばれるに相応しい活躍でした。

1992年のバルセロナ五輪の開会式では、同じくスペインのテノール歌手、プラシド・ドミンゴと共に歌い、国民的歌手としての存在も示したテレサ・ベルガンサ。日本でも大人気で、何度も来日公演を果たしただけではなく、長期休業中の音楽大学で特別公開レッスンなども行いました。

そのテレサ・ベルガンサが2022年5月13日に89歳でなくなったということです。死因は明らかにされていません。またひとり、20世紀を代表する大演奏家がこの世を去ってしまいましたが、YouTubeでは、ベルガンサとドミンゴが共演する「カルメン」などを試聴することができます。

ちょっとだけ 演奏会情報

6, 7, 8月は「音楽祭」の時期です。各都市のコンサートホールやオペラ劇場は夏休みに入るこの時期、野外やお城の特設会場で音楽フェスティバルが開催されます。今回は、フランクフルトから北へ約60km、WEILBURG という町で開催されるお城のフェスティバルを紹介します。

Weilburger Schlosskonzerte

2022年 6月 4日 ~ 8月6日 まで

コンサート会場は、城内のRenaissancehof (中庭)、Schlosskirche (城教会)、Orangerie (旧温室) など

<演目紹介(抜粋)>

6月11日(土) 中庭にて ラインラント・プファルツ フィルハーモニーの演奏
20時から
アンドリュウ・オソキンズのピアノ
ラフマニノフのピアノ協奏曲第2番
ドヴォルザーク 交響曲第9番「新世界より」

6月26日(日) 中庭にて マルティン・シュタットフェルドのピアノ
ライブツィヒ室内楽団の演奏
モーツァルトのピアノ協奏曲 ほか

詳しくは www.weilburger-schlosskonzerte.de を参照してください。